

## 高麗公民館～あいあい橋～巾着田～ドレミアム橋～満蔵寺～高麗公民館までの楽しみポイント

### ①高麗郷民俗資料館

民俗資料は古く使い終わった道具ではなく、当時を知り、良い部分を新しい生活へ活かす原点となるものです。

日高市では市の歴史を物語る貴重な財産として民俗資料を大切に保管しています。民俗資料館では、この中から農業、林業そして漁労に関する資料を展示しています。（日高市ホームページより）



（日高市ホームページより）

2021年2月20日撮影畑中

### ②中島照光先生顕彰碑

昭和二十二年高麗中学校に赴任、清流高麗川天神淵の水泳指導を取り入れ、豊かな自然と一体の教育を発展、遂に埼玉県中学校水泳大会女子八連覇の偉業に輝いた。

叱咤激励の熱情は、地域を動かし学校プール建設に結びついた。県下水泳指導者、国体水泳監督など水泳の普及指導の業績により体育功労賞を受賞。（碑の裏面に碑の説明あり）



あいあい橋の袂に建立



2021年2月25日撮影畑中

### ③あいあい橋

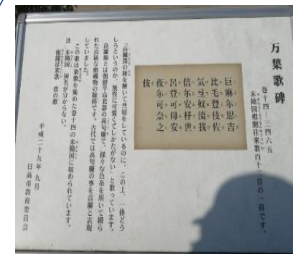
あいあい橋は、日高市の巾着田内にある橋である。日本最長級の木製トラス橋であり、周辺の緑と調和した橋である。架設年次：平成8年 橋長：92.20m



彩の国 埼玉県  
Saitama Prefecture より

### ④万葉歌碑

『高麗錦 紐解き放（さ）けて 寝（ぬ）るが上（へ）に 何（あ）ど為（そ）ろとかも あやに愛（かな）しき』（万葉集巻一四 三四六五）万葉集の東歌の一首として、巾着田内に記念碑が建立されています。万葉の時代に高麗郷と呼ばれた日高市で大陸から伝えられた技術によって「高麗錦」という高級織物が織られていたとする学説があり、当時を偲ぶことができる一首です。日高市観光ガイドより



2021年3月4日撮影畑中

### ⑤巾着田⑥曼珠沙華⑦桜並木⑧東一華（アズマイチゲ）

巾着田は、日高市内を流れる清流、高麗川の蛇行により長い年月をかけてつくられ、その形がきんちゃくの形に似ていることから、巾着田と呼ばれるようになりました。直径約500メートル、面積約22ヘクタールの川に囲まれた平地に、菜の花、コスモスなどの花々が咲き、中でも秋の曼珠沙華（まんじゅしゃげ）群生地は辺り一面が真紅に染まり、まるで赤いじゅうたんを敷き詰めたようです。

⑥曼珠沙華は「花は葉を知らず、葉は花を知らず」といい、花と葉が別々の季節に咲きます。花が咲き終わった10月ごろから細い

葉が生え始め、冬枯れの群生地が「緑一色」に変わります。日高市ホームページより抜粋

⑦桜並木は満開になると圧巻です。桜並木から日和田山を展望すると、春には色とりどりで山笑うといった感じがします。

⑧「東」は関東を意味する。「一華」はイチリンソウ属の花の名で、花が茎の先に1つだけつくことからきている。よく似たキクザキイチゲとは、本種の葉が深く切れ込まないことで区別する。



⑤巾着田

⑥ 500万本の曼珠沙華群生地・巾着田

⑦桜並木：日高観光協会より

⑧東一華 2021年3月4日撮影畑中